

おいしいお餅ができたよ

12月15日に、久々利保育園で餅つき会が開催されました。園児は、餅が餅米からできていることや、祝い事の際に餅をつく風習があることを学んだ後で餅つきを体験しました。

杵と臼を使って、だんだんと弾力の増す餅に負けないよう、「よいしょ、よいしょ」の掛け声に合わせて一生懸命つきました。

園児たちはつきたての餅にあんこときな粉で味を付けて、おいしそうにほおばっていました。



べったんべったん、おいしくなーれ



相手チームと競り合う西可児FCの選手

サッカーを通じて交流

東海環状自動車道が通過する三重、愛知、岐阜3県の沿線市町で実施する小学生サッカー大会が、12月17日から18日にかけてKYBスタジアムなど市内3会場で開催されました。

可児市からは市内の予選を勝ち抜いた西可児FCスポーツ少年団とFC ENFINIの2チームが出場し、各地区から選出された総勢32チームが熱戦を繰り広げました。

地域を支え続けて四半世紀

民生委員児童委員の木村恵子さんとボランティア団体のきずなの会が厚生労働大臣表彰を受賞し、市役所へ報告に訪れました。

平成7年から活動を続けている木村さんは「これからも地域のお手伝いをしたい」、平成4年から高齢者や障がい者のための会食サービスを行っているきずなの会代表の有村恵美子さんは「スタッフみんなで協力して続けてきたのが良かった」と感想を述べました。



木村さん（右）と有村さん（左）



地域の安心・安全を守る

1月8日に消防出初式が行われ、消防団員や可茂消防事務組合の職員など約300人が参加しました。

福祉センターでは式典が行われ、消防活動に功績のあった団員などが表彰されました。式典後は市役所に移動し、周辺市街地を行進。最後に大勢の市民が見守る中、可児川に向けて消防車による一斉放水を行いました。団員たちは息の合った放水を披露し、市民の生命財産を守る決意を新たにしました。



誓いの言葉を述べる國井さん

大人としての新たな門出を祝う

平成29年成人式を、1月8日に文化創造センター・アールで開催しました。会場には晴れ着姿の新成人810人が集い、旧友との再会を喜び合いました。

式典では成人式実行委員長の國井瑞己さんが「可児市の魅力を広め、次の世代に引き継ぐことが私たちにできる恩返し。これから始まる新しい未来に向かって堂々と歩んでいきます」と誓いの言葉を述べました。

続いて行われた記念イベントでは、小学校から高校時代の写真などが上映され、当時の恩師もサプライズでステージに登場。会場内は昔を懐かしむ新成人たちの笑顔と歓声に包まれました。



式の最後に全員で合唱する新成人

仲間の思いをつないで

可児駅伝競走大会が12月11日に行われました。今年は可児市郡から総勢117チーム、634人が参加。中学から一般まで5つの部に分かれた選手たちは、力強くコースを駆け抜けました。

一本のたすきをつなぎ、チーム一丸でゴールを目指す姿に沿道から拍手や声援が送られました。ゴール地点となる広見小学校では走り終わった仲間たちが最終走者を迎え、ゴールの喜びを分かち合いました。



中学女子の部でスタートを切る選手たち



黒紋付にはかま姿で講談を披露する生徒

中学生が講談披露

広陵中学校で12月9日、プロの講師や落語家などによる公演がありました。これは文化庁の「文化芸術による子供の育成事業」の一環で行われたものです。

当日は、事前にプロの手ほどきを受けた生徒3人も舞台上上がり、全校生徒の前で講談を一席披露しました。

3人は声の抑揚や、張り扇で釈台を打つタイミングなどをそれぞれに工夫しながら発表。客席からは拍手や「待ってました」などのにぎやかな合いの手が入りました。